令和元年8月28日

保護者様

栃木県立栃木翔南高等学校長

学校において予防すべき感染症について

保護者の皆様には、日ごろより学校保健の推進に御協力いただき、ありがとうございます。

さて、学校保健安全法では「校長は、感染症にかかっており、かかっている疑いがあり又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。」と定められています。

また、この出席停止の措置をとる場合には、学校医その他の医師の意見を聞いて行うものとする、とされています。

つきましては、栃木県教育委員会からの指導等により、下記のとおり御協力をお願いいたします。

記

【学校において予防すべき感染症と出席停止期間の基準】

第1種 … 治癒するまで出席停止

エボラ出血熱／クリミア・コンゴ出血熱／痘そう／南米出血熱／ペスト／中東呼吸器症候群（MERS）／マールブルグ病／ラッサ熱／急性灰白髄炎（ポリオ）／ジフテリア／重症急性呼吸器症候群（SARS）／鳥インフルエンザ（現時点で H5N1,H7N9）

第2種 … 出席停止基準は疾患毎に定められている

インフルエンザ （※第1種の鳥インフルエンザを除く）	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで （発症日を除く5日間）
百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗製剤による治療を終了するまで
麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
風しん	発疹が消失するまで
水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後2日を経過するまで
結核	症状により医師が感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	症状により医師が感染の恐れがないと認めるまで

（裏面あり）

第3種 … 学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで出席停止

コレラ／細菌性赤痢／腸管出血性大腸菌感染症／腸チフス／パラチフス／流行性角結膜炎／急性出血性結膜炎／その他の感染症

第3種（その他の感染症） … 流行を防ぐため必要があれば措置をとることができる疾患

溶連菌感染症／手足口病／伝染性紅斑／ヘルパンギーナ／マイコプラズマ肺炎／感染性胃腸炎 など

第3種（その他の感染症） … 通常の出席停止の措置は必要ないと考えられる

アタマジラミ／伝染性軟属腫／伝染性膿痂疹 など

【 感染症にかかった時に提出していただきたい書類について 】

(1) インフルエンザ … インフルエンザに関する登校申出書（保護者が記入・無料）

(2) インフルエンザ以外の感染症 … 治癒証明書（医師が記入・有料）

- ・ (2) の様式は、学校（保健室又は事務室）で用意しているもの、又は医療機関独自の証明書どちらでも結構です。本校のホームページで、ダウンロードも可能です。
- ・ (1) (2) とともに、登校可能になりましたら、担任をとおして保健室に提出してください。
- ・ 証明書に医師の記入を受ける際は、登校可能となる日を必ず記入していただいでください。
感染拡大予防のため、医師の指導を必ず守ってください。